

N	O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
110		外国語	英語コミュニケーションI	2/4 (2年次まで継続履修)	必修
開講年次	選択群	系列	使用教科書・教材		
1	なし	なし	All Aboard! Communication1 Revised (東京書籍)		

目標

外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、表現力、判断力	学びに向かう力、人間性
<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き等の理解を深める。 これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの要点や概要を、的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元・項目	学習内容	到達度目標
前 期 復習及び基礎確認 Pre-Lesson1～2 Lesson1 Breakfast around the World Lesson2 Australia's Cute Quokkas Lesson3 Life with Spade	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベット ○辞書の使い方 ○英語での指示 ○英文法の基礎 ○代名詞 ○動詞 ○各国の典型的な朝食について ○動詞 ○オーストラリアに生息する動物と人間の関係について ○進行形 ○流鏑馬競技者の布施蒼依さんの生き方について ○助動詞 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの太文字、小文字を正しく書くことができる。 アルファベットの音を正しく聞き取ることができる。 語句を辞書を使って意味や品詞を調べることができる。 調べた語句の発音ができるようになる。 授業中の英語での指示を理解できる。 主語・動詞・形容詞・副詞・前置詞・冠詞・目的語とはどのようなものかをしっかりと理解することができる。 be 動詞を理解し、正しく使うことができる。 人称、三単現の s, es について理解し正しく使うことができる。 自分の好きな食べ物を英語で聞いたり話したり書いたりして相手に伝えることができる。 be 動詞、一般動詞を使った文の形を理解し、疑問文、否定文を正しく作ることができる。 Quokkas の生息地を観光客が訪れる観光地としているロットネスト島の存在を知り、自然との関わりについて、自分の好みや意見を、聞いたり話したり書いたりして、話し相手に伝えることができる。 正しく進行形をつくる事ができる。 現在・過去進行形を正しく理解しこれらを使い、自分の行動を相手に伝える事ができる。 彼女の好きなことに向き合う真摯な姿と愛馬とのきずなを感じとり、自分の好きなことを実現する為に必要な事を英語で書いたり話したりして相手に伝える事ができる。 助動詞の持つ意味と種類を正しく使い分けすることができる。 これらを使い自分の行動や意見を英語で聞いたり話したり書いたりして相手に伝えることができる。
後 期 Lesson3 Lesson4 A Miracle Mirror Lesson 5 A Dream Engine	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の自然の奇跡の風景について ○不定詞 ○新しいエンジンの開発に挑戦する高校生について ○動名詞 	<ul style="list-style-type: none"> 自然のつくる美しさを知り、世界に目を向け、自分が行ってみたい所を英語で書いたり話したりして相手に伝える事ができる。 不定詞使を正しく理解し、これを用いて、自分の意思や行動を話したり書いたりして相手に伝えることができる。 世界最速の空気エンジン自動車を開発した博多工業高校自動車工学科の活動内容や将来に向けての目標を知り、自分の関心事や将来を、話したり書いたりして相手に伝えることができる。 動名詞を正しく遣うことができる。 動名詞を用い、自分の趣味や行動を話したり書いたりして表現することができる。

取得可能な検定や資格

- ・実用英語技能検定
- ※ 3 級を取得すると 1 単位、準 2 級を取得すると 2 単位の増加単位として認定される。(英語コミュニケーション I を修得した場合に限る)
- より高い級を取得した場合、認定単位数の差を増加単位として認定する。